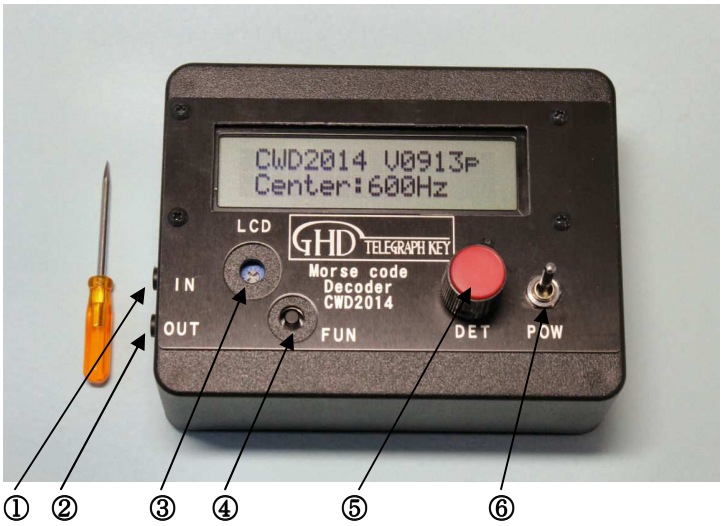
CW 解読器　取扱説明書

Rev2015.05.10

この度は CW 解読器 CWD2014 を御買い上げ戴き誠に有難う御座いました
本器は電信愛好会 A1 Club さんで開発されたキット[CW 復号器]を弊社で製品化しました



接続及び操作方法

1　電源スイッチ⑥を ON します、画面の様な表示になります
2　表示部(以下 LCD とします)は写真の様になります
3　LCD の文字の明るさの調整は③で行います(付属の小さいマイナスドライバーをお使い下さい)
4　付属のコードのプラグを端子①に差し込みます、プラグのもう片方は解読したい機器のイヤホン端子に差し込みます(本器の IN と OUT は並列接続のステレオジャックです、付属のコードはモノラルです、ステレオのプラグ付コードが必要な時はお客様でご用意願います、ステレオの時の解読 CH は左です)、イヤホンを使う時は②に繋ぎます、ステレオのイヤホンにも対応しますが、一部のAudio イヤホンでは相性が悪く、解読不可になるようです
5　モールス符号を入力し LCD の左上に ＊ の表示が符号に合わせて点滅するようにボリウム⑤を調整します、＊ の後の数字はおおよその速度(wpm:11～30)を表します、その次の E は欧文を J は和文を表します、入力された符号の”**ホレ**”で和文に”**ラタ**”で欧文に戻ります(和文の訂正符号の”**ラタ**”の時はスイッチ④を押して下さい)
6　スイッチ④の短押しで、強制的に E/J の切換えも出来ます(E/J の自動切り替えは完璧ではありません、必要に応じて手動で切り替えて下さい)
7　E/J の次の表示はフイルターのバンドワイズです、ナローの時は ＞ と ワイドの時は ］を表しています、スイッチ④の長押しで切り替える事が出来ます
8　解読には入力した CW 符号のトーン周波数と本器の**中心周波数**を合わせる必要が有ります、中心周波数変更は スイッチ④を押したまま 電源スイッチ⑥を入れ 次にスイッチ④を離します これにより中心周波数設定モードになり、スイッチの短押しで 500Hz-600Hz-700Hz-800Hz-500Hz という様に中心周波数を変更出来、スイッチの長押しで設定がメモリーに書き込まれ、電源を切っても保持します、出荷時は 600Hz です

◆ **ご注意 リグとの接続の際、雑音や混信有ったり、個性的な符号の解読は出来ません**
● **デザイン、色、パーツ、ケースの形や大きさが変わる事があります**

● **電池交換は裏フタを外して交換します、長い間使わない時は電池を外してください、電池は液漏れする事が有ります年に 1 度は必ず電池交換をして下さい、裏フタの止めネジは締めすぎない様にして下さい**

使用方法の一例

1 GR301A/er (送信練習器) と繋ぎエレキー、縦振り、バグキー、複式キー等の符号が解読出来るように練習すれば 綺麗な聞きやすい符号になり 送信に自信がつきます。

・本器の中心周波数は 600Hz にします(バンドワイズはワイドにします)

写真は GR301A/er に縦振りキーGT705A を繋ぎ解読した場合です

2 NHC-05G (受信練習器) と繋ぎ 苦手符号の表示、確認が出来ます(毎分 25 から 125 文字まで対応)

・本器の中心周波数は 800Hz にします(但し NHC-05G で設定を変えた時は、その設定周波数にします)

写真は最高スピードの 125/分を解読した場合です

3 リグのイヤホン端子と繋ぎ受信のアシストとして使えます 交信に余裕が持てます。(但しノイズが多かったり、混信が有ったり、早すぎる局や極端に短い交信や個性的な符号の解読は出来ません、**解読の実力は中級者程度です**)

・リグの受信ピッチ(イヤホンから聞こえるモールス符号の周波数)と本器の中心周波数を合わせます

① 50MHz のビーコンを受信 ②7MHz の混信が有った時 ③パイルで凄く早い局の場合

④和文ラグチュウの場合

CW 解読器 CWD2014 Q&A

Q1 接続したが *印 が点かない

A1 ①解読する機器のトーン周波数と CWD2014 の中心周波数を合わせる必要があります
（CWD2014 の中心周波数を合わせる方法は取説の1ページを参照してください）

② CWD2014 の OUT に繋いだイヤホンは もともとの 解読する機器のイヤホンを使用してください
（一部の Audio 用イヤホンは 相性が良くないようでこれを使うと *印 が出なくなる事が有ります、テレビやラジオ用の一般的なモノラルイヤホンの使用をお勧めします）

③ CWD2014 の DET ツマミをゆっくりと左又は右に回し *印 がはっきりと点く 様に DET ツマミを調整します

④ GK509A は イヤホン端子が無い為 GK509A の OUT 端子に接続しても解読は出来ません（解読するにはモールスの音声信号が必要です）

Q2 解読はするが T T T や E E E しか 表示しない

A2 ①DET ツマミをゆっくりと左又は右に回し *印 がはっきりと表示し正常に解読出来るようにします
（このツマミは単なるレベル調整ではなく 信号の しきい値 の設定です）

②極端に遅い符号や 極端に早い符号、極端に短い交信の符号は 解読できません

Q3 解読はするが 意味不明になる

A3 ①ノイズや混信が有ると正しく解読出来ません

②個性的な符号は解読出来ません、文字にも 綺麗な文字と 汚い文字が有る様に CW の符号にも綺麗な符号と 汚い符号が有ります 汚い符号や文字間にスペースのない符号は 解読できません

Q4 解読技量は どの程度ですか ？

A4 アマチュア無線のモールス通信をしている方々の中級者程度です
（初心者よりは優秀ですが 上級者よりは 劣ります、上級者が取れない符号は解読出来ません）

Q5 届いたが 中から ガラガラ音がする

A5 輸送中の衝撃が 大きいと 内蔵の電池が電池ホルダーから外れることが有ります、この様な時は
裏蓋のネジを外し 電池の ＋ － を正しく装着してください、裏蓋の止めネジは強く締めないで下さい
（強く締めると内部のネジ受けのモールドがダメージを受けます）

Q 6 和文/欧文の自動切り替えが思ったようにならない

A 6 この様な時は FUN スイッチ④を押してください
(E/J の自動切り替えは完璧ではありません、必要に応じて手動切替をして下さい)
尚プログラムの変更は出来ません、現状が製品実力です

981-3326
宮城県黒川郡富谷町明石字下向田 24-14
株式会社 GHD キー